

第2章 各グループの発表

各グループ内で意見を出し合い、まとめた内容について、特に伝えたいことを中心に発表シートを使用し、発表を行いました。

発表シート及びグループ内で出された意見については、実際に記載された内容・形態を可能な限り再現しているため、各グループにより表記の仕方が異なります。

また、記載された内容を忠実に再現するため、誤字・脱字等についてもそのまま掲載しています。

1 平成24年4月27日(金) <<1日目>>

小平3・2・8号線まちづくりワークショップ
スケジュール表(1日目)

【テーマ】 ~小平3・2・8号線ができることで心配すること・期待すること~

午後7時00分~午後7時05分	5分	開会・主催者挨拶・事務局紹介
午後7時05分~午後7時10分	5分	開催の趣旨の説明
午後7時10分~午後7時15分	5分	ワークショップの進め方の説明
午後7時15分~午後7時25分	10分	小平3・2・8号線の概要(情報提供)
午後7時25分~午後7時45分	20分	各グループ自己紹介
午後7時45分~午後8時30分	45分	第1回話し合い
午後8時30分~午後8時55分	25分	各グループ発表(1グループ5分程度)
午後8時55分~午後9時00分	5分	明日(28日)の予定説明
午後9時00分		閉会



【ワークショップの様子】

1グループ

《発表シート》

グループ番号	1	メンバー人数	7名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	2名	上水本町1丁目	2名	学園西町1丁目	1名
上水新町3丁目	1名	小川町1丁目	1名		
発表シート記入事項 (テーマ:小平3・2・8号線ができることで心配すること・期待すること)					
<p>●期待すること</p> <p>(1) <u>渋滞が緩和する</u></p> <p>●心配すること</p> <p>(1) <u>交通量が減少するのに道路は必要か、交通量は増加するのでは。通過するだけの町になるのでは。</u></p> <p>(2) <u>大気汚染、騒音、気温の上昇、振動などの健康被害。小平一小は3つの道路に挟まれる。</u></p> <p>(3) <u>高齢者、子ども、生きものにとって大切な環境である雑木林や玉川上水の環境破壊。</u></p> <p>(4) <u>良好な住環境の破壊、徒歩や自転車で安心して暮らせる環境の破壊。通学が心配。</u></p> <p>(5) <u>コミュニティの分断、商業地化、道路に挟まれた三角地も出てくる。</u></p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>◆…赤い付箋(心配すること)</p> <p>■…青い付箋(期待すること)</p> <p>★…黄色い付箋(改善策)</p> </div> <p>【付箋で出された意見】</p> <p>・期待すること 〈交通需要〉</p> <p>■渋滞が緩和する。</p> <p>・改善、提案 〈交通需要〉</p> <p>★府中街道に代替する計画変更を期待する。</p> <p>・心配すること 〈交通需要〉</p> <p>◆この道路は本当に必要なのか？ ◆交通量(大型)が多くなるのでは(呼び込む)</p> <p>◆小平は、通り過ぎるだけの町になるのでは</p> <p>◆この道路は本当に必要なのか？ ◆想定されている交通需要は妥当なのか。</p> <p>◆計画当初より社会の状況が変わっている。</p>					

◆交通量は減少傾向にあるのに、新しい道路をつくる必要はないのでは？税金の使い道として適当なのか疑問

〈環境〉

- ◆大気汚染による健康被害 ◆大気汚染騒音の被害 ◆排気ガス、ソウ音の増大
- ◆雑木林がなくなること、気温も上昇するのではないか。大気汚染や騒音の心配がある。アセスメントで十分考慮されていない。
- ◆一小は、3・3・3、3・2・8、青梅街道にはさまれてしまう。(排気ガス、そう音)

〈玉川上水〉

- ◆玉川上水の環境をこわしてしまう。
- ◆公園の東側の雑木林が約半分なくなってしまう。夏鳥が休み、子どもたちが、土の上で遊び、お年寄りがゆっくりすごす大事な場所がうばわれてしまう。
- ◆住民のレクリエーションの場である雑木林が無くなる。
- ◆雑木林をなくすのは、子供達の生育の場を奪い、失らべからざる緑の喪失となり許せない。

〈住環境〉

- ◆小平市で最も環境の良い住宅地を道路で奪うべきではない。
- ◆静かな住宅が分断されて、徒歩や自転車で安心できる町でなくなる。子供達が遊ぶ環境として心配。
- ◆玉川上水を道路が分断する。散策する人は、横断歩道か陸橋を渡らなくてはいけなくなる。散策の楽しみが損われる。
- ◆横断する通学生の危険増 ◆四小、四中への通学はどうなるのか？

〈コミュニティ〉

- ◆コミュニティが分断される。
- ◆このコミュニティは50年掛けて作られたもので、これを破壊するのは論外
- ◆狭溢な三角地を作ることになる。ここに住む人は棄民扱いだ
- ◆街の変化、商業地化など

〈その他〉

- ◆バクゼンとした不安。(未来に対する不安) 何かがおきるかもしれない。
- ◆住民の生活を考えていない(ハナレ小島化)

* 1グループにて出された意見は、全て発表シートに貼付されております。

《1 グループ発表議事録(発表順:3番目)》

最初に、この中でひとつだけ期待することというのがある。これは車に乗る方で、渋滞が緩和するのではないかと内容である。ただし、同じ方が、通過するだけの町になるのではないかといい言っている。

そして、心配することとして、交通関係だが、交通量が減少するのに道路は本当に必要なのか、不要なのではないか、ということと、道路ができることによって、交通量は実際には増加するのではないかという意見があった。

次は、大気汚染などの環境だが、大気汚染、騒音、気温の上昇、振動などの健康被害が起こるのではないか。特に一小は3つの道路に挟まれることになり、学校環境としても悪くなってしまうのではないかという意見があった。

そして、先ほどから何回も出ているが、子どもや高齢者がゆっくり休んだり、土の上で遊んだりする環境でもあり、生き物、特に今の季節は夏鳥が玉川上水沿いをずっと渡ってきて、生息する場所にもなっている雑木林や、玉川上水の大切な環境が破壊されてしまうのではないか。

それから、50年前からの、市内でも最高の住環境が破壊されてしまうのではないかと、ということと、徒歩や自転車で安心して暮らすことができる、遊びに行ったりできるような今の住環境が破壊されてしまうことで、通学なども心配になるという声が出ている。

もうひとつは、コミュニティが分断されてしまうということ。商業地化してしまうのではないか。道路に挟まれた三角地のような、非常に住みにくい場所、酷い住環境も出てきてしまうということで、棄民扱いなのではないか、という意見も出ている。

府中街道を代替路線とする計画変更を期待するという声も、改善案として出た。



2グループ

《発表シート》

グループ番号	2	メンバー人数	7名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	3名	小川町1丁目	1名	上水本町1丁目	2名
栄町3丁目	1名				
発表シート記入事項 (テーマ:小平3・2・8号線ができることで心配すること・期待すること)					
<p>(1) <u>都の交通量予測は過剰。行き過ぎた計画であり新設道路は不要。</u></p> <p>(2) <u>小平3・2・8号線で大気汚染、振動、騒音が心配</u> <u>(アセスメントをしっかりとやり直して欲しい。)</u></p> <p>(3) <u>小平市の貴重な緑が消失してしまう。</u></p> <p>(4) <u>計画前から住んでいた。50年かけてつくった町内がバラバラになってしまう。</u></p> <p>(5) <u>現府中街道の改善、改良で渋滞は解消されるはず。</u></p>					

《2グループ発表議事録(発表順:2番目)》

グループでは、私がおそらく唯一40代で、他の方は私の親ぐらいのシニアの方だった。すでに子育てが終わった世代であったこともあり、子供とか遊びとかというところに話題が至らなかった。7人のメンバーの中で、3人が地権者であり、より切実な、思いの強い意見が出てきた。

1番を除く2、3、4、5番は、付箋の意見で多いもの順に分類したものである。ただ、繋がりを考えると、1番が前に来るということになった。道路を包括したリアルな意見が多かった。

まず、1番に挙げた点については、3グループでも発表があったが、交通量の予測に疑問があるという意見がある。都の交通量予測が過剰で、行き過ぎた計画になっているのではないか。新設の道路を造るのは如何なものか、不要なのではないか、という意見があった。

2番目は、道路ができるということで、大気汚染、振動、騒音というものが、みなさんからいろいろな表現で出ていたが、これらが沿道住民にとっては非常に心配される点である。また、アセスメントが本当なのかという疑問の声があり、しっかりやり直して欲しいという意見が上がった。

3番目は、小平市の貴重な緑が喪失してしまう。具体的には、玉川上水の緑道の緑と、法面までの緑と、雑木林等の緑が無くなってしまふことを危惧する声が上がった。

4番目は、地権者の思いの強さが表れている。計画前から住んでいる、50年かけて作った町内がバラバラになってしまうという意見があった。ちょうど町内の真ん中に道路ができるとのことで、東西がそれぞれ別の町になってしまうということと、真ん中に住んでいる人たちは、それぞれ別の町に移ってしまうということで、表現としては「町内がバラバラになってしまうことを危惧する」ということでまとめている。

5番目は、現府中街道の点について、渋滞しているという意見も確かにあった。3・2・8号線ができることで、遠くに行くには便利になるという意見も実は出ていた。それを実現するために、現府中街道の改善、改良で、渋滞や遠くへのアクセスの面も問題がないように解消されるのではないかと意見が我々のグループでも挙げた。



《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】小平3・2・8号線ができることで心配すること・期待すること

〈交通〉

- ◆計画道路東側から、鷹の台駅までの歩き、自転車でのアクセスが悪くなる。
- ◆五日市街道交差点近辺が渋滞する。 ◆交通量3万から4万は考えられない。
- 長距離の通過交通車両にはよくなるだろうが、地元の生活者が当然優先されるべきである。 ◆新道は不要。 ◆道路が必要だという意味が解らない。
- ◆交通量、府中街道2万台/日 大きな渋滞なし。
- 府中等の遠方への移動は便利。 ■府中街道の渋滞が緩和される。
- ★府中街道を一部改良すれば済むのではないか。
- ★どうしても道路の幅を拓けるのなら、府中街道を拓げる。
- ◆府中街道の改良を市・都とも考えるべき
- ★府中街道の信号の右折レーンや、拓幅する形にする案であれば、許容できる。

〈環境〉

- ◆府中街道、3・2・8の間の三角地帯◆騒音についての認識が甘い。
- ◆騒音。 ◆大気汚染。 ◆震動。 ◆ゼンソク患者の実態。
- ◆環境影響評価複合を考えていない。 ◆騒音がどうなるか。
- ◆環境影響評価が不十分（PM2.5など） ◆大気中の排ガスが気になる。
- ◆学校等の環境を考慮していない。 ◆小平一小を囲む計画道路
- ◆公害に対する都の法的対応？

〈玉川上水・緑〉

- ◆玉川上水緑道が、36mに渡り破壊されてしまう事。 ◆緑地が減少する。
- ◆上水のつながりが途切れる。 ◆1.3haの雑木林の大部分が消失してしまう

〈住環境〉

- ◆府中街道と3・2・8号線の間で一種住専でなくなり、住宅街の形が壊れる。
- ◆道路側に大型店ポが並び、既存店ポが消える。

- ◆…赤い付箋(心配すること)
- …青い付箋(期待すること)
- ★…黄色い付箋(改善策)

〈コミュニティ〉

- ◆コミュニティを大事にしたい。
- ◆歴史的につくられてきたコミュニティが、この道路で分断される。物理的な分断よりも精神的文化的な分断が心配だ。 ◆団地100世帯が分断されること。

〈その他〉

- ◆3月28日の都との話し合い。変更する意思なしとのこと。
- ◆国費(税・国債)が100~125億円使われ、未来の世代に借金をつくる事になる。 ★3・2・8号を地下道形式にすれば多少改善する。

3グループ

《発表シート》

グループ番号	3	メンバー人数	7名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	1名	津田町2丁目	1名	上水南町2丁目	1名
上水新町3丁目	1名	小川町1丁目	2名	学園西町1丁目	1名
発表シート記入事項 (テーマ:小平3・2・8号線ができることで心配すること・期待すること)					
<p>(1) 自然環境</p> <p>◆鳥、虫、木、植物の死 ◆自然を失った公園・玉川上水が分断される、林と一体</p> <p>(2) 子どもと地域の生活環境</p> <p>◆子どもの良い遊び場がなくなる！</p> <p>◆地域コミュニティの分断(四小、一小の学区)</p> <p>◆大型店！</p> <p>(3) 環境汚染</p> <p>◆音の問題 ◆空気の汚染 ◆気温の上昇(アスファルト、木陰がなくなる)</p> <p>◆アセス予測が間違っている ◆一小が80,000台に囲まれる。大変な公害</p> <p>(4) 交通量への疑問と別の選択</p> <p>◆交通量はそんなに増えないはず。過剰投資の心配、後世に禍根を残す</p> <p>◆交通量が疑問、本当に増えるのか</p> <p>(5) 弱者へのしわよせ</p> <p>◆晩年の生活環境が破壊される。 ◆老人が渡れない！</p> <p>◆立ちのきできない高齢者、母子家庭どうするのか</p> <p>(6) 行政の計画に対する疑問</p> <p>◆50年前の計画をゴリ押し ◆たかの街道の改善が先</p> <p>◆道路工事計画が出されているが、詳細が中々発表されない</p> <p>◆理屈で反対しても、作られてしまう。(国分寺地区の見分結果)</p> <p>◆府中街道を改良、再生すればよいのに、なぜやらないか</p> <p>◆市は、グリーンロードを大きな財産としてアピールしているのに、反することを何故するのか。◆税金のムダ使い ■ない！ ◆調べてないこと多し</p> <p>◆情報不足 ■住民全体のまとめができればいい</p> <p>(7) その他意見</p> <p>・ワークショップのまとめをどう活かされるのか？</p> <p>・住民の意見を聞いたまま流してしまわず、何をしてくれるのか？回答が欲しい</p> <p>・住民の参画と協働は条例にあるのだから市民の意見が尊重されることを期待する</p> <p>・代替案を市として都に提出することが望ましい。(クランクを斜めにしてかん和し、府中街道を広げる。)</p>					

◆…赤い付箋(心配すること)

■…青い付箋(期待すること)

★…黄色い付箋(改善策)

《3グループ発表議事録(発表順:1番目)》

みんなに付箋を書いてもらったが、他のグループもそうだと思うが、ほとんどが赤い付箋(心配すること)となった。

青い付箋(期待すること)には「ない」という意見と、「今回このワークショップをやることによって少しは今後に変化がもたらされることを期待する」という意見があった。

まず、その赤い付箋をグループでまとめたところ、「自然環境」、「子どもと地域の生活環境」、「環境汚染」、「交通量への疑問と別の選択肢」、「弱者へのしわ寄せ」、「行政の計画に対する疑問」、だいたいこんなカテゴリーに分けられた。

「自然環境」に関しては、玉川上水と雑木林には非常に豊かな自然があって、いろいろな団体が調べているが、たくさんの植物や小動物、鳥や虫などが住んでいる。そういった生態に大きな影響が与えられ、たくさんの生き物が死ぬということは、心が痛い問題である。

2番目の「子どもと地域の生活環境」については、私は子供の遊び場の活動をしていて、雑木林を使っている。子供たちの遊ぶ環境は、今、非常に劣化している。人工的な場所しかなく、公園なども、みんなが昔、幼かった頃にやっていた遊びをすると、みんな止められる。ボール遊びもできない。大きい声も出してはいけない。基本的な遊びとして出てくることも禁止されてしまう。あそこの雑木林は、そういった子供の声も吸収してくれるし、すごくよい環境である。夏休みに、子供に雑木林でいっぱい遊んでもらうが、本当に涼しい。雑木林の外側は暑くて、気温が40℃近くても、雑木林の中は涼しく、とても気持ちが良い。子供たちは、光化学スモッグや熱中症にやられず、気持ちよく遊べる場である。あそこが最後の砦で、あそこが無くなると、子供がそういったところでは遊べなくなってしまう。

それから、「地域のコミュニティ」については、道路ができると(沿道に)大型店舗がたくさんできてしまい、鷹の台等の昔から地域の生活に密着している商店街が潰れてしまうのではないかと懸念がある。大きい道路ができることによって、四小とか一小の学区が分断されてしまうことについてもとても心配だ。

「環境汚染」については、空気の汚染、音の問題等、道路ができることで心配なことはたくさんある。また、先ほども少し触れたが、涼しい雑木林が、一気にアスファルトの道路になることで、その温度の落差はすごく大きいと思うが、環境アセスにはその部分を取り上げられていない。そういう意味では、環境アセスにも疑問がある、という意見も出た。

「交通量への疑問と別の選択肢」については、今日配られたこの資料(都作成のパンフレット)があるが、この1ページ目にある、交通量が82,000台/日までこれから増えていくということについて、間違っているのではないかと疑問がある。これから人口も減り、今の環境に敏感な世代が車をなるべく使わなくなっていくので、このように車が増えていくということについて、この調査は間違いなのではないかと思っている。

「弱者へのしわ寄せ」については、これについては小学校の学区を広い道路が分断することを含めて、高齢者がこのような広い道路を渡るのが大変であったり、すぐ目と鼻の先で移動できていた場所が広い道路により行けなくなったり、ずっと遠くの信

号まで大回りしないとあちらの方に行けなくなってしまう。そうなってしまうと、高齢者はそこからなかなか出られないような、そういうような街になってしまうことが残念である。また、代替地に移ることについても、母子家庭や、経済的な弱者へのしわ寄せも大きいのではないかと思う。

それから「行政の計画への疑問」というのも挙げてみた。まず、税金の無駄遣いなのではないか。もう少し方法があるのではないか。それから、本計画は50年前の計画だが、50年前は社会的事情が今と全然違う。その時に必要だったものが、今でも、必ず必要なのかということも疑問である。それから、道路計画は理屈で反対しても結果的には造られてしまうというのは、国分寺で実証されているので、そういったことについても非常に疑問を持っているという意見があった。

あと、いろいろな意味で調べられていないことが多い。情報がきちんとこちらに伝わっていない。なかなか詳細な部分を我々はキャッチできていない。こういったことが心配である。ここで話されたことが、もし今後に生きるのであれば、そこだけは期待したい、ということになった。

最終的なまとめとして、このワークショップのまとめがどのように活かされるのかということについて、我々は期待したいが、住民の意見を聴いたまま、流してしまわずに、なんとかしてくれるのかということについて、まずは回答が欲しい。住民の参画と協働というのは条例にもあるので、市民の意見が尊重されることを期待している。

また、代替案を市が都に提出することが望ましい。例えば、クランク部を斜めに削るような形でなんとかスローカーブにして、府中街道を少し拡幅した方が、事業費の面でも、いろいろな意味でも、ストレスが少ないし、こういった林や環境が守られるのではないか。ただ反対というだけではなく、代替案をこれから我々が真剣に考えていくことが大事であるという結論になった。



《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】小平3・2・8号線ができることで心配すること・期待すること

〈行政の計画に対する疑問〉

- ◆本当に必要なのか、人口も交通需要もへるのに。
- ◆都の意向を待たずに何故、前もって市の立場を明確にしないのか。影響を受ける一番近い自治体がハッキリすべき
- 市から納得できる情報がないので、出して欲しい。
- 情報不足 ■なし。期待できない。 ■なし

- ◆…赤い付箋(心配すること)
- …青い付箋(期待すること)
- ★…黄色い付箋(改善策)

〈環境汚染〉

- ◆移住の際、現在以上の住み心地が得られるか。
- ◆空気のよごれ ◆騒音 ◆大気汚染、騒音などの公害
- ◆環境調査の方法、限定された地域で判断している。

〈子どもの、地域の生活環境〉

- ◆新しい居住者に3・2・8号について、話してきたいが・・・。
- ◆1小と鷹の台幼稚園の環境。1小は80, 000台の車に囲まれる
- ◆遊び場がなくなる。
- ◆愉しむの場がなくなる
- ◆公園としても、大規模道路端となり、公園の質が著しく落ちる。
- ◆自然の状態に近い雑木林をなくすのか。人工的公園（禁止事項が多い）では子どもは育たない。
- ◆プレーパークの場所はこの林が最適。
- ◆美しい景観が損なわれる。
- ◆強制移住で子ども達は交友、学友関係が破壊される。
- ◆住宅街にどうして、幹線道路を。非常識。
- ◆健康増しんの場がなくなる
- ◆たかの台商店街に悪影響

〈自然環境〉

- ◆小動物が死ぬ！！ ◆自然破壊
- ◆公園の大事な緑（雑木林）が失われる。
- ◆玉川上水にとっても、更に大きな橋をかけるのは破壊的。
- ◆林と玉川上水の死
- ◆国際的に生物多様性が認識されている。市はどのように考えてる。

〈交通〉

- ◆交通量が増えてしまう（通過車両）
- 当座の交通渋滞の解消。ただし、これは別の手段で考えるべき。

4グループ

《発表シート》

グループ番号	4	メンバー人数	7名
メンバー構成(お住まいの地域)			
津田町1丁目	2名	上水本町1丁目	2名
小川町1丁目	1名	たかの台	1名
発表シート記入事項 (テーマ:小平3・2・8号線ができることで心配すること・期待すること)			
<p><u>(1) 現在の計画にメリットは何も無い。中止してほしい。</u> <u>(まちがった情報で、まちがった道路がつくられる)</u></p> <p>◆都市計画法のあり方そのものが問題あり。住民無視、ナンセンス ◆この計画道路は本当に必要なのか。だれにとって必要なのか ■計画が中止になること ■メリットは何も無い</p> <p><u>(2) 地域住民の声を聞いて、とり入れてほしい。</u></p> <p>★現行案だけでなく、多くの代替案を出してほしい ★住民の意見を取り入れてどんどん訂正したら？</p> <p><u>(3) 道路をつくるために、追い出される人達が心配。</u></p> <p>◆高齢者が新たな場所に移動しなければならない ◆追い出される人達が心配 ◆移転する場所を指定し、その場所を探してくれるのか</p> <p><u>(4) 玉川上水の緑が分断され、中央公園の雑木林が失われ</u> <u>る。</u></p> <p>◆中央公園の雑木林の大半が失われる。 ◆玉川上水と新堀用水が36m幅で分断される。</p> <p><u>(5) 大気汚染や騒音で住環境が悪化する。</u></p> <p><u>(6) 府中街道を改良する。</u></p> <p>★府中街道クランク解消すれば。</p>			
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>◆…赤い付箋(心配すること) ■…青い付箋(期待すること) ★…黄色い付箋(改善策)</p> </div>			

《4グループ発表議事録(発表順:4番目)》

まず、一番伝えたいこととしては、この現在の計画にメリットは何もない、中止して欲しいということである。青い付箋(期待すること)は2枚出ているが、青の中身は「メリットはない」ということと、「道路が中止になること」が期待することである。

心配することとして挙げられたのは、この計画が住民の意見を全然聞こうとしていないということが挙げられた。東京都がひとつの案を出してきて、それをあくまでも押し進めようとしているそのやり方に対する疑問の声が出た。現在造られている東京都の案だけではなくて、もっと多くの代替案というものが有り得るし、住民の意見を取り入れて計画そのものを変えていくことが必要ではないかという意見が出た。

あと心配する点としては、まず、道路を造るために追い出されてしまう人がいることが心配だという意見があった。特に、高齢者が別の違うところへ移動する時、移動する場所を教えてもらえるわけでもないし、どうしたらよいのかという意見が出された。

その次の心配事としては、やはり玉川上水と、中央公園の横にある雑木林の緑が失われてしまう。玉川上水の緑道が36mの幅で分断され、中央公園横の雑木林も大半が無くなってしまい、それに伴って鳥や虫等の生き物もいなくなってしまうということが心配である。

もうひとつ心配として挙げられたのは、大気汚染や騒音が発生することになる。特に、沿道に残される人たちにとっては、酷い環境になる。窓も開けられないような環境、騒音でノイローゼになってしまいそうな環境になってしまうのではないかと心配が挙げられた。

改良すべき点としては、現在の府中街道をもう少し改良する余地があるのではないかと。交差点をもう少しスムーズに車が流れるようにする等、まだ改良の余地があるのではないかと話された。



《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】小平3・2・8号線ができることで心配すること・期待すること

〈自然〉

- ◆玉川上水の緑道の分断。 ◆緑が失われる、生態系が崩れる。
- ◆少ない自然林の破壊、動植物が消える。
- ◆この地域に生息する鳥や虫、植物などが失われる。
- ◆木が何百本も切られ、温暖化が進む。 ◆緑がなくなる。 ◆畑がへる。

〈その他〉

- ◆固定資産税が上がっちゃう？ ◆小平に住み続けられるか？
- ◆大型店ぽの画一的な街並み。 ◆平和な町の分断。
- ◆道路ができれば今後の生活はどうなるのか。
- ◆住民の意見をもっと良く聞いて、計画を考えてほしい。
- ◆生活環境が道路で分断される。 ◆現居住者の希望、要望への配慮はどうなる。
- ◆アッチ側に行くのに遠まわり？ ◆小平市にとってメリットはあるのか？
- ◆地域の分断、町の孤立化が進む。 ◆人とのつながりが薄れる、人間性の喪失。
- ◆年金生活している者に、今後保証されるのか！
- ◆遮音塀が避難の際の妨げになる。
- ◆玉川上水の真ん中のお散歩道はとおれるの？
- ◆新たな大気汚染が発生。 ◆大気汚染や騒音で住環境が悪化する。
- ◆新たに沿道で苦しむ方が増える。
- ◆道路をつくることは公害を増すことになる。
- ★府中街道を生かした新道路づくり。バリアフリーへの配慮。
- ★既存の道路を生かし切る。 ★たかの街道の歩道を拡げてほしい。
- ★府中街道の交差点の改良や停車帯の設置。
- ◆税金の無駄遣いしていいの？ ◆無駄な税金の投入。

(民主主義の形骸化)

- ◆都は道路計画を5年ごとに見直すといってきたが、どのように見直し作業を行ったのか。 ★地域住民の声を聞け！ ◆必要性の説明不足。
- ◆小平市が都と折衝した経過を説明してほしい。国分寺は6回やったが、小平は・・・
- ★説明会について ■無し

◆・・・赤い付箋(心配すること)

■・・・青い付箋(期待すること)

★・・・黄色い付箋(改善策)

〈安全性〉

- ◆災害時はどこへ逃げるの？ ◆交通事故などの安全上の問題。
- ◆交通事故の増加。 ◆うちの猫、自由に走り回っているけど交通事故？
- ◆生活道路への新たな進入。 ◆36mも渡れる？

2 平成24年4月28日(土) <<2日目>>

小平3・2・8号線まちづくりワークショップ
スケジュール表(2日目)

【テーマ】 ~まち歩きでわかったこと よい点・悪い点・提案~

午後1時00分~午後1時10分	10分	主催者挨拶・ガイダンス
午後1時10分~午後2時30分	80分	まち歩き(グループごと)
午後2時30分~午後2時45分	15分	休憩
午後2時45分~午後3時55分	70分	ワークショップ・グループ発表
午後3時55分~午後4時00分	5分	次回の予定(説明)
午後4時00分		閉会



【まち歩きの様子】

1グループ

《発表シート》

グループ番号	1	メンバー人数	7名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	2名	上水本町1丁目	2名	学園西町1丁目	1名
上水新町3丁目	1名	小川町1丁目	1名		
発表シート記入事項 (テーマ:まち歩きで分かったこと よい点・悪い点・提案)					
<p>(1) 玉川上水</p> <p>(2) 雑木林</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠くから歩きに来る小平の誇れる財産。 ・緑陰が涼しく、快適。 ・新堀用水で水遊びできる。 ・自然がすばらしい。ほっとする環境。 <p>(3) コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古くからのコミュニティがすばらしい。 <p>(4) 閑静な住宅地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閑静な住宅地。 ・庭の木々も目を楽しませる。 <p>(5) 現状道路の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中街道、たかの街道の歩道が狭い。 ・交差点の改良(すいすいプラン)。 ・住宅地の道路の改善。 ・府中街道(上水北側)の車道が狭い。 <p>(6) 中央公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー性向上した。 ・駐輪場・駐車場の整備、災害時の避難性の向上。 <p>(欄外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設道路は地球温暖化を促進する。 ・なぜ3・2・8号線はまっすぐじゃないの？ ・玉川上水沿いの都有地を販売したのは、おかしくないか？ 					

《1グループ発表議事録(発表順:2番目)》

地図の中に、「このこと」という風に引き出しをつけて付箋を貼っている。まず、1番大事なことだと話していたのが「玉川上水」。今日もウォーキングフェスタでたくさんの方が遠くから歩きに来ていて、ゼッケンを見ると横浜、川崎等書いてあった。歩くために遠くからわざわざ来るような玉川上水沿いの環境は、小平市の誇れる財産である。

2番には「雑木林」。玉川上水と共通するが、緑陰がとても涼しく、快適であったというのが、今日暑い中歩いてのみんなの感想であったと思う。そして、自然が素晴らしくほっとする、ということも、多くの方が書いていた。新堀用水では水遊びができ、多摩川の水も流れている。新堀用水の環境ということも出てきた。

「コミュニティ」というのは、特に鷹の台2号団地についてのことだが、50年以上前からのコミュニティが続いている。隣近所の付き合いのある環境が素晴らしい、コミュニティが素晴らしい。

「閑静な住宅地」というのは、静かな暮らしやすい住宅地があるということ。特に、歩いていて、庭の木々が目も鼻も楽しませるいい環境だと思った。ひとつ出ていたのは、たかの台幼稚園の環境も玉川上水沿いのよい場所にあるということも出ていた。

あとは、「現状道路の改善」ということ。まず、現状道路に改善すべき点があるのではないかとということが意見としてたくさん出ていた。府中街道、たかの街道の歩道が狭く、危険である。交差点の改善が必要だという意見がある。青梅街道と府中街道との交差点の右折禁止が不便であることや、府中街道のたかの街道への進入車線を増やして欲しいといった意見も出ていた。

それから、府中街道の玉川上水より北側の車道自体が狭いという意見もあった。こういった現状道路の整備が必要ではないかという意見である。

「中央公園」に関してだが、今回の「花いっぱい大会」に合わせて、(バリアフリー整備が行われ、)バリアフリー性が向上したということ。あとは、駐輪場や駐車場をもっと整備して欲しい、災害時の避難性をもっと向上させて欲しい、という意見も出た。

中央公園から道路(府中街道、たかの街道?)に出るまでの道が狭い。ここを災害時の避難場所とするならば、もうちょっとアクセスしやすくして欲しい。また、ここに新たな道路ができるとどうなってしまうのかという心配もある。

欄外として、新設道路は地球温暖化を促進するという意見や、(模造紙に印刷された地図を見て)小平3・2・8はどうして真っすぐではないのだろうかという疑問、玉川上水沿いのたかの台幼稚園のそばの所有地が販売されたのはどうしてだろう、おかしいのではないかと意見も出ていたので拾ってみた。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】まち歩きで分かったこと よい点・悪い点・提案

〈よい点〉

- 新設道路は地球温暖化を促進するだろう。
- 静かな住宅地
- 静かな住宅地でよい。郊外型店ポなど並ぶ町になってほしくない。
- 庭に咲く花が（全体）目を楽しませる。ほのかな花のニオイも良い。
- 閑静な住宅地 ■鷹の台幼稚園の環境はすばらしい
- 住みやすい町。分断してほしくない。 ■コミュニティの分断
- 貴重な穏やかな住宅地を壊したくない。 ■隣近所のおつきあい
- 津田団地さえき以北の住宅地は良好
- 現状で特に府中街道の渋滞はなかった。
- 緑陰の素晴らしさを痛感した。（雑木林も）
- 玉川上水、新堀用水は水遊び可
- たまたま旧 3Days マーチの第 1 日目で多くの人達（とみんを含めて）の貴重なウォーキングロード
- ウォーキングフェスタの人たち 川崎、横浜からきていた。
とおくからきて歩きたくなる環境 大切！
- 木々が本当に涼しく感じる。
- 涼しい！快適！木かげあり、土の上の道はほっとする。
- 玉川上水の緑 ■緑の林
- 中央公園のバリアフリー性向上した
- ここちよい林。体がほっとする。緑を守りたい。■雑木林の自然はすばらしい

〈悪い点〉

- ◆上水ベリの都有地を販売したのはおかしくないか
- ◆コミュニティ分断を痛感 ◆新設道路で街づくりはあり得ず
- ◆道路（歩道）が工事跡などで少しデコボコしている。
- ◆歩道が狭くて危険 ◆歩道が狭い
- ◆信号待ちで多くの車が止まっている。臭い。
- ◆府中街道玉川上水北側が狭い ◆たかの街道の歩道が狭く危険
- ◆たかの街道の歩道がせまい
- ◆青梅街道、府中街道 クランクの右折禁止は不便

- ◆…赤い付箋(悪い点)
- …青い付箋(よい点)
- ★…黄色い付箋(提案)

〈提案〉

- ★質問！！なぜ直線でないの？ ★中央公園 北東側に駐輪場を
- ★中央公園 北側にも駐輪場を ★災害時、ヒナンできない
- ★鷹の街道の拡幅、歩道整備 ★府中街道 鷹の街道への右折路線を増やして

2グループ

《発表シート》

グループ番号	2	メンバー人数	4名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	2名	小川町1丁目	1名	上水本町1丁目	1名
発表シート記入事項 (テーマ:まち歩きで分かったこと・よい点・悪い点・提案)					
<p><u>(1)農地と住宅が静かで住みやすい街である。市民が街を愛している。</u></p> <p><u>(2)現状の府中街道 歩道狭い クランク 右折レーンなど改善要望多い。</u> (3・2・8で必ずしも解決しない。)</p> <p><u>(3)雑木林、玉川上水、素敵な緑、いい空気、ほっとする。</u></p> <p><u>(4)小平市民は国分寺に向かう府中街道を使う。</u> (3・2・8は小平市民が便利になると感じない 通過交通に見える。)</p> <p><u>(5)小平3・2・8号と府中街道がとても近い</u></p>					

《2グループ発表議事録(発表順:4番目)》

1番最初に挙げたポイントは、農地と住宅が共存していて、静かで住みやすい街だということ。あまり改めてまち歩きをするという機会はないが、今回じっくり見て、閑静な住宅地の中に農地があるような風景を見て、みんながそう感じた。「市民が街を愛している」というのは、これにはいろいろな意味があるが、他のグループからも良いコミュニティができているという話があったが、みんなが近くに住んでいることもあり、非常に仲良くして交流も多いという話があり、それが愛しているという意味のひとつである。それから市民ではないが、一緒に歩いた市の職員が、小平市が好きで小平市の職員になったという話をしていた。また、雑木林に戻ってきたときに、ここはほっとするという意見も同じであり、ここが無くなるのは私も残念だと、率直に言っていた。こういう風に言われて、それを撤回することはないと思う。率直な意見だったのだろうと思う。みんなが好きな小平で、みんなが好きな緑なのだと感じた。そういったことで、「市民が街を愛している」というシンプルなまとめとした。

2番目は、現状の府中街道の歩道が狭い、クランク、右折レーンなどの改善要望が多かった。小平市から国分寺市に行くケースが多いという意見があり、4人中3人が、府中街道についてよくそのような使い方をしているという話であった。そうすると、クランク部がそのままであったり、右折レーンが設置されないということであると、国分寺に向かう時にそこで発生する渋滞は(小平3・2・8号線が整備されても)解消しないのではないかという意味で「3・2・8では必ずしも解決しない」としている。小平3・2・8号線により渋滞が解消される面も多少はあると思うが、クランクや右折レーンといったポイント、歩道が狭いことの危険、自転車が通れないとか、傘を差して歩けないなどの問題は解消されない。小平3・2・8号線を造っても市民のためになるのかといえば、そうではないのではないかという意見である。

3番目は「雑木林、玉川上水、素敵な緑、いい空気、ほっとする」だが、これは書いたとおりで、みんなが暑いところから(雑木林に)戻ってきて、ひんやりして、よい空気が吸えたということで、まち歩きをして、改めて雑木林の良さを感じた。

4番は先にも触れたが、府中街道を利用した国分寺方面への利用について、自宅に訪ねてきた知人を送ったり、買い物をする場合でもタクシーで戻ってくるなど、シニアの方たちが言っていた。そういうケースであると、小平3・2・8号線ができても、国分寺に行くのには便利になるとは感じない。一言で言うと、このグループでは沿道に住んでいる人が多かったが、そういう人は、小平3・2・8号線は、遠くに住んでいる人が小平市の真ん中を通過していく道路、通過道路として捉えている。

それから、歩いて感じたことの中で、小平3・2・8号線と府中街道はとても近いということ。地図にスケールをあてて測った感じでは、五日市街道側では200mぐらい、青梅街道は60~70mぐらいで、近接して2本の道路ができることについてみんなが疑問を持っている。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】まち歩きで分かったこと よい点・悪い点・提案

〈よい点〉

- 地域社会の人間関係がすばらしい
- 生活道路には車が全く通らず静かだった
- 静かである ■住宅地のふんいきが良い
- 住宅街と農地が町の特徴になっている
- 玉川上水緑道を散策する人 雰囲気がいい
- 歩いて帰りついた時、公園の緑がすばらしく、林の中はごくらくだった
- 緑が多い ■雑木林が素敵 気持ちが落ち着いた
- 府中街道 車がすむーずに流れている
- 公害が殆んどない ■空気がひんやりで気持が良い ■樹木が多い

◆…赤い付箋(悪い点)

■…青い付箋(よい点)

★…黄色い付箋(提案)

〈悪い点〉

- ◆36m道路の幅が意外に広いことに驚いた。高齢者が渡るのは大変
- ◆五日市街道と府中街道の交差点と新しい交差点が意外に近かった
- ◆道路予定地が案外住宅密集地だった
- ◆(今ではないが)府中街道は渋滞している
- ◆鷹の街道と府中街道の交差点の改善
(北行 府中街道の交差点南側一定区域の複雑化)
- ◆府中街道 右折レーンがない ◆歩道狭く自転車あぶない
- ◆府中街道 深夜に大型車が全速で走り振動激しい
- ◆府中街道、青梅街道のクランク渋滞
- ◆3・2・8と府中街道が近い ◆2つの道路で新たな渋滞

〈提案〉

- ★四車線がいるのか? ★小平市民は車で国分寺に出る事が多い

3グループ

《発表シート》

グループ番号	3	メンバー人数	6名		
メンバー構成(お住まいの地域)					
津田町1丁目	1名	津田町2丁目	1名	上水南町2丁目	1名
上水新町3丁目	1名	小川町1丁目	2名		
発表シート記入事項 (テーマ:まち歩きで分かったこと よい点・悪い点・提案)					
<p>(1) 素晴らしい玉川上水・雑木林・土の道</p> <p>■雑木林の土と緑 ■木々をわたる涼しい風 ■心も体もゆるむ緑 ■玉川上水の土と緑 ■遠くからも沢山の人が歩きにくる宝の玉川上水 ■雑木林は素晴らしい ■モグラの巣の土のふくらみ ■かれんな草 ■林の中のふかふかの地面 ■木の下、土の道ほっとする！ ■すばらしい雑木林 絶対に失ってはならない ■玉川上水の緑 ■林や玉川上水の一体化した街並 ■暑さを吸収してくれる木立ち</p> <p>(2) 閉静な住宅街のある良さ</p> <p>■居住環境に幹線道路は時代錯誤 ■車が進入して来ないように作った住宅の道路 ■道路計画に入っている住宅地 とても落ち着いた街並 ■住宅街のコミュニティを分断してはいけない ■2号団地、すばらしい住むところ 車が通り抜けできない工夫はすばらしい ■長い間かけて愛情かけて作ったコミュニティ ■静かなすみよい住宅街(上鈴木)今のままでよい。今のままをあとにつなげよう ◆のんびりしたよい町並と思うが、これを破壊されると思うとぞっとする ◆すみやすい居住環境を3・2・8でこわしてはいけない ◆3・2・8号線の建設は住民に何もプラス要素をもたらさない ◆3・2・8号線のマークが設置されていないと良い悪いの判断がつかない。 ◆府中街道にはいる道がない ◆幼稚園の裏を36m! ◆かんせいな住宅街をつぶす! ◆上鈴木、2号団地には暮しがあつた。ほっとした</p> <p>(3) 道路が及ぼす負の影響</p> <p>◆小学校のすぐそば 3本の大道路!! ◆幼稚園教育は静穏が何より重要 ◆幼稚園の子ども環境がまもれるのか ◆安全が守れるのか!? ◆道路の排気ガス ◆道路の騒音 ◆青梅街道のクランク交差を改善すること ◆五日市街道からかいま見た国分寺市の道路予定地</p>					

- ◆..赤い付箋(悪い点)
- ..青い付箋(よい点)
- ★..黄色い付箋(提案)

(4) 府中街道の改良再生

- ★府中街道の改良をまずして！！
- ★府中街道の歩道、バスのストップが必要。改良、再生を
- ★青梅街道のクランク交差を改善すること ★廃案にしろ！（とりあえず）
- ★府中街道を渋滞原因をていねいに調べ、改善することから始める
- ★あらためて環境とは を問い直したい
- ★府中街道をもっと活用すること。（路線）

(5) 住民、市民の意見を聞くべき

- ★このすばらしい環境を破壊してまで必要な道路があるのか
- ★道路は住民としては必要悪。これをもう一本つくらなくて済む方法を考えよう
- ★計画道路外（現街道添い）の立除きは、特別に補償するなどの方法
- ★どうしても新道が必要なら、もう少し東側、畑の多い部分を通すべき
- ★住民の意見を市も都もきいて！
- ★どうしても作るなら緑の林 玉川上水を残す！

*3グループにて出された意見は、全て発表シートに貼付されております。

《3 グループ発表議事録(発表順:1番目)》

今日は気持ちのよい天気の中を歩いている中で、今までにも見ていないような発見もあった。

まず1番に伝えたいこと、大切なこととしては、玉川上水、雑木林や土の道の良さ。

みなさんも感じられたと思うが、土の道を歩いたり、雑木林を歩いたり、玉川上水に沿って歩いたりしていると、素敵どころ、いいところというように、みなさんが感じられたと思う。雑木林まで帰ってきたとき、涼しくて心地よい感じがして、これは絶対失いたくないものであると認識した。また、モグラによる土の隆起も見え、ここが道路になったらモグラも生きてはいられないというように感じた。

2番目は、閑静な住宅街のある良さを挙げました。そういう自然のある林以外にも、住宅街がとても素敵だという発見があった。一緒に歩いた方の中には、実際に住んでいる人もおり、ここの住宅街はとても長い時間をかけて、いいコミュニティを作っている。そのコミュニティの真ん中に道路が通ってしまうと、そのコミュニティも壊れてしまう。みんな高齢化していることもあって、ここから移動することの困難さとか、せつかくの人の繋がりが壊れてしまう将来的な不安をすごく感じている。のんびりした街の良さを壊されてしまうことに対して、この赤い付箋が貼られている。青い付箋には、良い住宅街であるということが書かれている。

3番は、道路が及ぼす負の影響。今日、道路をずっと歩いていて、照り返しが強くそういった環境的なもの以外にも、騒音や排気ガス、それから安全性のことがすごく心配だという意見が出た。ちょうど今日歩いた中に、たかの台幼稚園の裏手もあったが、それ以外にも、今日はちょっと足を伸ばせなかったが、一小や三小の方に、こういった道路が延びてしまうことによって、子供の安全は守られるのだろうか、それから排気ガスによる健康被害はないのだろうか、といったことがとても心配であった。ここ2、3日で小学校に登校する子供の列に車が突っ込むニュースが流れてきたが、道路を造る良さもあるが、そういった負のもたらすものもいっぱいある。そういったものは極力少ないほうがよいのではないか。

府中街道の改良、再生を、ここで最終的に私たちがこういうふうにして、1本であればまだ許せるのだから、2本にするのではなく、1本の道路、府中街道を充実させるためには、少し道幅を広げたり、クランクの箇所を斜めに走らせるような計画を考えてもよいのではないかというように思った。

5番に、「住民、市民の意見を聞くべき」という項目を入れた。折角このようなワークショップをやっても、やりましたよといって、写真をパチパチ撮って、これで終わりというふうには絶対してはいけない。我々は本当にこういう意見を持っている、こういう意思を持っている市民なんだということをもっとアピールしたいと思うし、これを開催した小平市は、ここのところを自分達の仕事として都に繋げていくことをやって欲しい。

4グループ

《発表シート》

グループ番号	4	メンバー人数	5名
メンバー構成(お住まいの地域)			
津田町1丁目	1名	上水本町1丁目	2名
たかの台	1名		1名
発表シート記入事項 (テーマ:まち歩きで分かったこと よい点・悪い点・提案)			
<p><u>(1) 緑があると涼しくてほっとする(子どもも大人も楽しんでる)</u></p> <p><u>(2) 閑静で平和な住宅街をこのまま守ってほしい</u></p> <p><u>(3) 住宅街の間に畑や木々が点在するのが小平らしい風景</u></p> <p><u>(4) 府中街道などの道路際は暑くて空気が悪い</u></p> <p><u>(5) 主要道建設よりもたかの街道など生活道路の改善・整備を</u></p>			
<p>〈よい点〉</p> <p>■閉静な平和な住宅街</p> <p>■道路ネットワークよりも人のネットワーク</p>		<p>◆…赤い付箋(悪い点)</p> <p>■…青い付箋(よい点)</p> <p>★…黄色い付箋(提案)</p>	
<p>〈悪い点〉</p> <p>◆ディーサービス施設が道路予定地にある</p> <p>◆道路際の排気ガスは吸いたくない ◆アスファルトは暑い</p> <p>◆市道の未整備(消防車の入れる様)</p> <p>◆3・3・3もできたら道路だらけになる</p>			
<p>〈提案〉</p> <p>★畑、木々住宅の点在する風景</p> <p>★これからも存続して欲しい 畑を大事に農業政さく</p> <p>★鷹の街道・水車通りを拡幅(歩道の設置) ★住宅街の袋小路打開を</p> <p>★府中街道 鷹の街道とも歩道が狭く危険 拡幅を急げ 自転車とくに(未灯火)取締まりを</p> <p>★府中街道を拡幅をする(青梅街道一上水1丁目) (五日街道)</p>			

《4グループ発表議事録(発表順:3番目)》

他のグループと同じような項目が挙がった。

今日、暑い中歩いて、玉川上水から中央公園の雑木林にかけて緑があり、緑の下を歩くと涼しく、ほっとした。子供も大人も緑の下で楽しんでいて、ちょうど予定地にデイサービスの施設があり、その利用者は緑が近いからそこを利用しているというような話を聞いて、この緑は残して欲しいと感じた。

2番目を感じたのは、住宅街の中を歩いていて、閑静で平和なよい住宅街であると感じた。こういった暮らしやすい住宅街を大事にして欲しいということを感じた。道路のネットワークよりも、人と人が繋がっていけるような街を守って欲しいと感じた。

3番目としては、玉川上水の手前辺りを歩くと、住宅街の間に畑や木が点在している風景が広がっていて、こういった風景が小平らしいのではないかと、こういった風景を残して欲しいと感じた。自分の家の近くに畑などがあれば、そこで獲れた野菜を食べることができるし、広々とした空間でのびのびとした暮らしができる。

4番目としては、今日、道路際を歩いたが、府中街道などの大きい道路のそばは暑く、空気が悪い。こういった空気を吸って、騒音に悩まされながら暮らすことは苦しいのではないかと感じた。

5番目としては、主要道を建設するよりも、たかの街道などの現在ある生活道路をもっと改善して整備して欲しいということを感じた。狭く、袋小路になっているところもあって、もっと生活しやすいように普段使っている道路をもう少し改善して欲しいという意見があった。

また、小平3・3・3号線の予定地も見たが、ここにもまた道路を造るつもりなのかという感じで、そういった大きい道路をどんどん造るよりも、まずは今ある生活道路を改善して欲しいと感じた。

一言で言うと、このままを大事にして欲しい。

《グループ内で出されたその他の意見》

【テーマ】まち歩きで分かったこと よい点・悪い点・提案

(まち)

- 静かな住宅街
- 孤立した被害者としてではなく、客観的なビジターとしてみた小平は全体として平穏な住みよい町だ
- 市内の近道（緑道）が利用できる
- 良好な住宅環境の維持が重要

◆…赤い付箋(悪い点)

■…青い付箋(よい点)

★…黄色い付箋(提案)

(緑)

- 緑が多い 木の下は涼しい ■ 中央公園横 自然林と玉川上水の自然が良い
- 散歩している歩行者が多い ■ 防災に雑木林が役立つ 木のネットワーク
- 雑木林 木の下は涼しい

(畑)

- 適度な空間が有って良い（梅畑、他） ■ 梅林 畑は震災時も安心

(現道路)

- 連休の始まりのせいか幹線道路も生活道路も極端に車が少なかった

(環境)

- ◆ 道路沿いの住環境の悪化
- ◆ 3・3・8道路のすぐ脇にある家は、騒音と大気汚染に悩まされることになる

(緑)

- ◆ 雑木林がほとんどなくなってしまう
- ◆ 五日市街道の拡幅で屋敷林のケヤキなどがなくなる

(現道路)

- ◆ たかの街道は狭くて危険 ◆ 主要道よりも生活道路の改善

(現道路)

- ★ 歩道を広げる